

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-120	高等学校	数学科	数学 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	数 I 718 数 I 719	新編数学 I 新編数学 I サポートブック		

1. 編修の基本方針

- ①既習事項の確認ができるサポートブックを用意し、数学の系統性が実感できるようにし、既習事項をもとに主体的に見通しをもって本冊の学習に取り組めるようにした。
- ②当該科目に関する知識と技能を確実に身につけ、それらを活用して思考・判断・表現する能力を伸ばすために、記述や題材を工夫した。
- ③1つの題材に対して複数の考え方があることを適宜示し、いろいろな立場を尊重する態度を養うことができるようにした。
- ④生活に関連のある題材や、数学を発展させた先人の業績について扱うことで、数学に対する興味・関心を高め、社会の形成・発展に主体的に関わろうとする態度を養うことができるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p style="text-align: center;">1 章 数と式</p> <p style="text-align: center;">課題学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの由来に関する内容を扱い、真理を求める態度や、他国を尊重する態度を養えるようにした(第1号・第5号)。 ・生活との関連を重視し、ノートの代金やエレベータに乗せられる重量に関する課題を扱った(第2号)。 ・不等式に関する課題を会話形式で扱い、真理を求める態度や、自他の協力を重んずる態度を養えるようにした(第1号・第3号)。 	<p style="text-align: center;">本冊 p. 3</p> <p style="text-align: center;">本冊 p. 31, 38</p> <p style="text-align: center;">本冊 p. 41</p>
<p style="text-align: center;">2 章 2 次関数</p> <p style="text-align: center;">課題学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活との関連を重視し、水槽の水の量の変化や針金で作る長方形、物体の打ち上げに関する課題を扱った(第2号)。 ・1つの題材に対して複数の考え方を示し、創造性を培えるようにした(第2号)。 ・2次関数の最大・最小、2次関数の決定、2次不等式に関する課題を会話形式で扱い、真理を求める態度や、自他の協力を重んずる態度を養えるようにした(第1号・第3号)。 	<p style="text-align: center;">本冊 p. 44, 61, 67</p> <p style="text-align: center;">本冊 p. 76</p> <p style="text-align: center;">本冊 p. 66 - 67, 82</p>
<p style="text-align: center;">3 章 図形と計量</p> <p style="text-align: center;">課題学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三角点に関する内容を扱い、自然を大切に環境の保全に寄与する態度を養えるようにした(第4号)。 ・生活との関連を重視し、ケーブルカーや立木の高さ、山の高さに関する課題を扱った(第2号)。 ・三角形が解けるパターンに関する課題を会話形式で 	<p style="text-align: center;">本冊 p. 83</p> <p style="text-align: center;">本冊 p. 88 - 89, 109</p> <p style="text-align: center;">本冊 p. 111 - 112</p>

	扱い、真理を求める態度や、自他の協力を重んずる態度を養えるようにした（第1号・第3号）。	
4章 集合と論理 課題学習	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の証明に関する内容を扱い、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした（第5号）。 ・四角形の分類と必要条件・十分条件や$\sqrt{2}$が無理数であることの証明に関する課題を扱い、真理を求める態度を養えるようにした（第1号）。 	<p>本冊 p. 113</p> <p>本冊 p. 127 - 128</p>
5章 データの分析 課題学習	<ul style="list-style-type: none"> ・生活との関連を重視し、立ち幅跳びの距離や50m走の時間、英語や数学の小テストの点数、右手と左手の握力の関係に関する課題を扱った（第2号）。 ・釣りに関する内容を扱い、自然を大切に環境の保全に寄与する態度を養えるようにした（第4号）。 ・仮説検定の考え方に関する内容を扱い、自主及び自律の精神や勤労を重んずる態度を養えるようにした（第2号）。 ・コンピュータとデータの分析に関する課題を扱い、真理を求める態度を養い、創造性を培えるようにした（第1号・第2号）。 	<p>本冊 p. 130 - 131, 138 - 141</p> <p>本冊 p. 134, 136 - 137</p> <p>本冊 p. 144</p> <p>本冊 p. 146 - 147</p>
本冊巻末	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットと数字・記号の書き分けや記号の歴史に関する内容を扱い、幅広い知識と教養を身に付け、伝統と文化や他国を尊重する態度を養えるようにした（第1号・第5号）。 	本冊 p. 171, 176
サポートブック	<ul style="list-style-type: none"> ・生活との関連を重視し、数当てゲーム、クレーンゲーム、オリジナルTシャツ、直角の作り方、通学時間に関する課題を扱った（第2号）。 ・式の展開、円周角と中心角に関する課題を会話形式で扱い、真理を求める態度や、自他の協力を重んずる態度を養えるようにした（第1号・第3号）。 ・富士山の写真に関する内容を扱い、自然を大切にする態度を養えるようにした（第4号）。 	<p>サポートブック p. 2 - 3, 10 - 13, 22 - 23, 30 - 31</p> <p>サポートブック p. 4 - 5, 24 - 25</p> <p>サポートブック p. 20</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・本冊の各項目が主体的に取り組めるように「学習のねらい」を設けた。
- ・読みにくい漢字には積極的にルビを添え、一般的な教養も身につくよう配慮した。
- ・思考力、表現力、判断力を育成するために、協働的に取り組む「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「説明してみよう」、「調べてみよう」を本文や節末の課題学習などに設けた。
- ・動的な解説や試行錯誤することが深い理解につながる場面に、自由に利用できるコンテンツを用意した。
- ・生徒や先生のキャラクターを登場させ、親しみやすい教科書となるようにした。
- ・基本的な知識と技能を習得するために、本冊の節末に「確認問題」、巻末に「補充問題」を設けた。
- ・各章の学習内容を応用したり組み合わせたりして解く、挑戦しがいのある問題を本冊巻末の「総合演習」で扱った。

- ・巻末に、教科書で扱っている全ての問題の解答を掲載し、学習したことを確認できるようにした。
- ・本冊巻末のさくいんでは検索性を上げるため、用語に公式や図を添えた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-120	高等学校	数学科	数学 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	数 I 718 数 I 719	新編数学 I 新編数学 I サポートブック		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 学習者にとって理解しやすい教科書

- ・教材の配列については、生徒が無理なく理解できるよう、十分配慮した。とくに、中学校での学習内容とのつながりを重視し、既習事項の確認ができるサポートブックを用意し、初出の内容の学習に主体的に取り組めるようにした。
- ・学習内容はできるだけ細分化し、段階を追って確実に知識や技能が身に付けられるようにした。
- ・天下り的な説明はできるだけ避け、具体例を通じて理解できるような記述にした。
- ・例題を解いた後に、「解法のポイント」として要点を振り返ることができるようにし、問題解決に活用できるようにした。
- ・計算の負担を軽減し、本質部分の理解に集中できるよう、十分配慮した。
- ・動的な解説や試行錯誤することが深い理解につながる場面に、スマートフォンやタブレット、パソコンで自由に利用できるコンテンツを用意した。
- ・各節の標準的な内容については繰り返し練習できるように、本冊の節末に「確認問題」、巻末に「補充問題」を設けた。
- ・巻末に、教科書で扱っている全ての問題の解答を掲載し、学習したことを確認できるようにした。

(2) 数学への興味・関心を喚起し、数学的な見方・考え方を働かせることを促す教科書

- ・本冊の章扉で、各章における学習のつながりと目標や、その章に関連するトピックを掲載した。
- ・本冊の各項目が主体的に取り組めるように「学習のねらい」を設けた。
- ・具体的な問題を解決する場面を取り上げ、数学的な見方・考え方のよさを感得できるようにした。
- ・思考力、表現力、判断力を育成するため、協働的に取り組む「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「説明してみよう」、「調べてみよう」を本文や節末の課題学習などに設けた。
- ・節末や章末では、理解を深めるための問題や、本文に関連する興味深い内容も扱うようにした。

(3) ビジュアル面を工夫した、読みやすい教科書

- ・ユニバーサルデザインのフォントや配色を採用し、読みやすさの向上に努めた。
- ・レイアウトを工夫して、紙面をすっきりさせた。
- ・公式などの重要事項は、太字にしたり、枠で囲んだり、表にまとめたりして、強調するようにした。
- ・本文をカラーにしたり、図版・イラスト・アミ版などを適切に掲載したりして、視覚的な効果にも配慮した。また、生徒や先生のキャラクターを登場させ、親しみやすい教科書となるようにした。
- ・本冊巻末のさくいんでは検索性を上げるため、用語に公式や図を添えた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1章 数と式 1節 式の展開と因数分解 2節 実数 3節 1次不等式 課題学習	(1) 数と式 ア (ア), (ウ), (エ) イ (イ), (ウ), (エ)	本冊 p. 3 - 42 サポートブック p. 2 - 9	26
2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 2節 2次方程式・2次不等式 課題学習	(3) 二次関数 ア (ア), (イ), (ウ) イ (ア), (イ), (ウ)	本冊 p. 43 - 82 サポートブック p. 10 - 19	26
3章 図形と計量 1節 三角比 2節 図形の計量 課題学習	(2) 図形と計量 ア (ア), (イ), (ウ) イ (ア), (イ)	本冊 p. 83 - 112 サポートブック p. 20 - 25	19
4章 集合と論理 1節 集合と論理 課題学習	(1) 数と式 ア (イ) イ (ア)	本冊 p. 113 - 128 サポートブック p. 26 - 29	9
5章 データの分析 1節 データの分析 課題学習	(4) データの分析 ア (ア), (イ), (ウ) イ (ア), (イ), (ウ)	本冊 p. 129 - 147 サポートブック p. 30 - 31	10
		計	90

※年間授業時数を 90 時間として配当している。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-120	高等学校	数学科	数学 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
183 第一	数 I 718 数 I 719	新編数学 I 新編数学 I サポートブック		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
本冊 20~21	3 次の乗法公 式と 3 次式の 因数分解	1	(1) 数と式 「既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。」	2
本冊 30	二重根号をは ずす	2	(1) 数と式 「既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。」	1
合計				3

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容